



発行所 全大阪消費者団体連絡会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2丁目1番19-430

TEL.06-6941-3745 FAX.06-6941-5699

<https://osakacon.org/>

発行人 全大阪消費者団体連絡会

印刷 株式会社 耕文社

個人購読料 年間 5,000 円 (送料込み・消費税別)

購読料送金先 (口座名・全大阪消費者団体連絡会)

郵便振替口座 00900-9-8320

三井住友銀行天満橋支店 普通預金口座 0969062

近畿労働金庫大阪中央支店 普通預金口座 1161622

温暖化ストップ!できることに取り組もう!

気候危機の被害進む

日本の過去100年あたりの年平均気温上昇は1.44℃で、世界全体0.79℃の約2倍。極端な気象現象が顕著になっている。年平均気温の1991年～2020年の平均値との偏差は、1位2024年(+1.48℃)、2位2023年(+1.29℃)、3位2025年(+1.23℃)と、直近3年間で上位を占める。また、大気中や日本近海の海水温が上昇したことで、台風や前線に供給される水蒸気量が激増。これにより短時間で猛烈な雨を降らせる線状降水帯や極端な豪雨が多発し、各地で浸水や土砂災害、道路の寸断が相次いでいる。農作物への打撃も大きく、リンゴやミカン的高温障害(図1)や米の白未熟粒等の品質低下、収量減少が引き起こされ、流通や価格にも影響を及ぼしている。

図1



日焼けによる果実の変色

(左:りんご、右:うんしゅうみかん)

農林水産省: https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/kikohendo_tekio_all.pdf

西ヨーロッパでは、今年6月に各国で40℃を超える猛烈な暑さを記録。観測史上最も暑い6月となった。「英国では熱波による死者数が推定2700人に達した。ドイツやフランスでも数千人が亡くなったとされ、欧州全体では死者数が1万人にのぼるとみられる」(7月14日日経新聞web)と報じられている。

今すぐCO₂削減を!

温暖化ストップ、再生可能エネルギー100%、火力・原発NOをアピールするネットワーク「ワタシのミライ・大阪」(大阪消団連は運営団体)が、7月10日にJR大阪駅前で行った気候スタンディングには36名が参加。



歌やスピーチで「地球“沸騰化”を止めるCO₂の削減を。ホルムズ海峡封鎖で化石燃料に依存するリスクが顕著に。原発はコストも事故のリスクも高く、時間もかかる。再エネ100%の実現へ、発電の転換が必要」と訴えた。

9月27日(日)

気候アクションin大阪、開催!

大阪市中央公会堂大会議室

13:30～15:45

Main Talk

気候正義訴訟弁護団代表 島 昭宏さん

みんなトーク「ワタシの気候アクション」

16:15～17:30

気候マーチ 中央公会堂前～西梅田公園

※詳細は次号掲載

主な内容

- 温暖化ストップ! 今すぐ取り組もう!1
- 消費者団体と事業者、協働の可能性と限界を探る 2
- 食糧法改定案の徹底審議求める/最低賃金の大幅引き上げ求める/全国消団連の意見・声明3
- 核兵器廃絶に向けた懸け橋に4～5
- 連続学習会「消費税ってどんな税金?」第4、5回 6～7
- 再エネ導入が進む世界と“ガラパゴス化”する日本 8～11
- ニュースピックアップ12